

角館高校図書館交流会

～本を通じ世代を越えての交流ができました～

「みんなの登校日」の11月29日(木)16:00から角館高校の図書館では地域の方々を交えての図書館交流会が行われました。今回が初めての企画でしたが、地域の方々や保護者の方々などが多数参加していただき、図書委員を中心とした生徒達と「いのちについて」というテーマで世代を越えた交流が実現しました。角館高校の生徒ともあわせて約70人の方々で図書館は満員状態でした。



読み語りコンサート。心に響く茂木さんの歌声

最初にテーマに関連する読み語りコンサートで、ソプラノ歌手の茂木美竹さんの「千の風になって」などの歌や、いじめをテーマにした本「わたしのいもうと」などの読み聞かせをしていただきました。その後はいのちに関する意見交換を行いました。コメンテーターの高橋広之さんの「いのちのりレー」等の話題提供を受け、角高生が「葉っぱのフレディー」を読んでいのちについて深く考えた体験や祖母を亡くした悲しみの中で「千の風になって」の歌や本で癒されていった体験を話しました。そして赤ちゃんを抱いているお母さんが「子供を産んで人とのつながりの中にいることに気づいた」という思いを話してくださったり、お年寄りの方からは「孫は希望をつなぐ」という言葉をいただきました。さらに角高生が今は亡くなっているが自分をかわいがってくれた祖父母への思いをこめて「伝えるすべはないが、感謝の気持ちを持って生きていきたい」としみじみと語る場面もありました。

地域の方々に学校を知っていただくとともに、交流を通して生徒達の読書活動への刺激となり、「人のあるべき生き方」を考えていききっかけとなったようでした。参加、協力いただきましたの方々には本当にありがとうございました。また地域の方々と交流できる催しを考えていきたいと思います。



幅広い世代の方の意見が交換された

なお、角館高校の図書館は、平日の9:00～16:30は一般の方々への貸し出しも行っていますのでお気軽に足をお運びください。授業で使っている場合でもカウンターで検索して貸し出すことができます。事務室にお声をかけてください。

図書委員会の加賀谷健太委員長(3年)の感想

地域の幅広い世代の方々と接する機会はまだあまりありませんでしたが、いろいろな考え方に触れ、テーマの「いのち」についてだけでなく、人生観まで深めることができたように感じています。どうもありがとうございました。

われら角高

テージセー



今年はテージセーに将棋同好会が発足しました。将棋好きな生徒と教師による、こぢんまりとした手作りの活動です。でも練習時間は毎日の授業が終わってから、だいたい夜の9時半過ぎまで!仕事に勉強に疲れていても、そこは角高魂と言いましょか、俄然気合いが入ります。そして11月に開催された全県大会では、なんと女子の部で優勝(佐藤春子3年)することが出来ました。また12月に行われた東北地区大会では2人そろってベスト8に入るという快挙を成し遂げました。運動部に負けにくいくらいの実績を味方につけて、ただいま大活躍中です!今回は選手の木元幸穂さん(仙北市)と、顧問の今野巖先生にお話を伺いました。

趣味の将棋をクラブ活動に活かせるとあって自分も楽しみながら指導してきました。ですから11月の全県優勝は予想外のうれしい出来事でした。これからも基本練習を大切にしながら、1月の全国大会に臨みたいと思います。



☆顧問～今野巖



大会当日は緊張してしまい、自分の力を出し切ることができませんでした。次の大会では自分の力を出し切れるように頑張りたいと思います。

☆2年生～木元幸穂

テージセー将棋同好会